

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 2月 26日

事業所名 フレンズ中川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	4			・支援内容によって場所を分けるな ど、限られたスペースで充実した支 援が行われるように工夫している。 ・支援によっては足りないと感じる
	②	職員の配置数は適切である	2	5	1		・送迎と支援が重なる時間帯は、職 員不足を感じる ・職員の急な欠勤や児童のトラブル があった時は、人手不足を感じる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	3	2	3		・建物の構造上、バリアフリーは 難しい
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	1	4	3		・常勤職員内では、必要に応じ て行われているが、非常勤職員 も含めての参画は出来ていな い
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	4	4			・アンケート内容を共有し、問題 解決に努めている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	3			・ホームページにて公開してい る
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	2	5		・第三者による外部評価は行 なっていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3	2	3		・参加可能な研修には参加して いる
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	1		・定期的に保護者面談を行な い、保護者からのニーズを把握 し、個別支援計画に反映させて いる
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	3	4	1		・決まった書式で統一して使用 している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	3	4		・常勤で話し合っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	2	2		・毎度同じイベントにならない工 夫をしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2	4	2		・1日ごとに課題を決めて行っ ている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	2	4	2		・個別活動と集団活動を組み合 わせて作成していない
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	3	3	2		・必要に応じて打ち合わせや情 報の共有を行なっているが、毎 日には行なっていない 今後は習慣化させたい
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している		4	4		・勤務時間の関係で、当日の打 ち合わせが難しいため、翌日以 降に情報共有を行っている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2			・日時記録書に子どもの日々の 様子を記録している

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	4	4			・6ヶ月に1度必ずモニタリングを を行い、職員から見た様子や意見 を共有し必要があれば、支援計 画を見直している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	2	5	1		・保育の5領域に沿った目標を 立てている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	4			・会議があれば参加する体制は 整えている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	5	3			・毎日カレンダーを配布し、保護 者のスケジュールを把握してい る 急な変更はメールや電話で適 切に対処できている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	3	4	1		・医療的ケアが必要な子どもを 受け入れる体制がない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている		7	1		・就学前に通われていた施設と の情報共有は、行われていない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している		7	1		・必要な場合に情報共有が出来 る体制を整えている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		5	3		・今後の回数を増やしていきたい
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	3	2	3		・交流の場として設定していな いが、外出時に一緒に遊ぶ機 会はあ
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	1	5	2		・参加できるものには、参加して いる
保	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	5	3			・お送りの際、保護者とお会いし た時に、当日の様子をお伝え し、特記する場合は、メール等 でもお伝えしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		3	5		・ペアレントトレーニングは行 なっていない
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	2			・契約時に書面に沿って丁寧に お伝えし、不明な点は迅速に対 応している
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2			・要望に応じて、面談の場を設 け、悩みを共有している
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		2	6		・保護者会は、開催していない

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	4			・苦情を全職員に共有し、当日もしくは、翌日までに改善策を実行していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2			・月に一回、通信を発行し活動の様子を伝えている
	③⑤	個人情報に十分注意している	6	2			・個人が特定されないよう、細心の注意を払っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	2			・対面が難しい場合は、電話や書面などで意思が伝えられるように方法を変えて行っている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			8		・地域住民を招待する企画は、考えていない
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	4	3		・マニュアルは策定しているが、浸透していないと思われる
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		2		・避難訓練は定期的に行なっている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	5			・虐待防止研修が定期的に行われ、その都度、全職員に共有している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	3			・事例を基に会議を行い、極力拘束を行わずに解決する方針を取っている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3			・契約時にお聞きしたアレルギー食材は基本的に購入しない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3			・事例を共有したうえで、作成している

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 2月 26日

事業所名 フレンズ中川 保護者等数(児童数)20 回収数 9 割合 45 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	9				
	②	職員の配置数や専門性は適切である	8	1			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	3	5	1		・車いすのご利用者は利用が出来ない
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	9				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8	1			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	3		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	8	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	9				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	3	5		・保護者同士の交流が必ずしも良い結果を出すとは言えない
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	9				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	8	1			
	⑭	個人情報に十分注意している	8	1			
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	6	3			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	7	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	8	1			
	⑱	事業所の支援に満足している	9				・通所のない日でも、 報告できることがあり がたい

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 7年 2月 26日

事業所名 フレンズ中川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			スペースは十分にある
	②	職員の配置数は適切である	3			時間に制限はあるが、適切であると感じる
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1		バリアフリー化はなされていない
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	1		活動によって環境を変えていく
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3			常勤・非常勤関係なく意見を出し合っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			改善に日々努めている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			自己評価表の結果をホームページにて公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		第三者による外部評価は、行っていない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			可能な限り参加している
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			なるべくたくさんの意見を聞き、必要な課題を選択し作成を行なっている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			統一された評価で行なわれている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			目標や課題を照らし合わせて、支援内容を設定している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			適切に支援を行なっている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			常勤全員で話し合っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			同じプログラムを続けて行わないようにしている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	1	2		個別と集団を組み合わせ、支援計画の作成は行っていない	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	1		支援前に前日の引継ぎと、当日の流れを共有する程度	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2		終業時刻がバラバラのため、記録に残し、各職員が確認することで共有している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			日々記録を徹底している	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3			改善が見られた場合、その都度更新している	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			会議に参画する人は、児童の様子に一番詳しい人が行なっている
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	2		関係機関との連携は行なっていないが、必要に応じて行っていきたいと考えている
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		3		医療ケア児のお預かり・支援は、行なっていない	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3		医療ケア児のお預かり・支援は、行なっていない	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		保育所等との間で、支援内容の共有は行なっていないが、必要に応じて支援を行っていききたいと考えている	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		小学校や特別支援学校との間で、支援内容の情報共有は行っていない	
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		連携は行なっていないが、可能な限り研修には参加している	
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2		公園等で地域の方と関わる機会はある	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	②9	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	1		可能な限り参加している
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			当日の様子をお伝えしている
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		3		ペアレントトレーニングは行なっていない
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			契約の際、規定に沿って丁寧に説明を行っている
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			話題の意図を丁寧に伝えて、段階的に説明し同意を得ています
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			意図を汲み取り、適切な助言を行なっている
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		保護者同士の会等は開催していない
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3			申し入れがあった場合に、迅速に対応している
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			フレンズ通信として中での様子を発信している
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	3			厳重に管理している
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			連絡帳だけではなく、メールや電話で漏れなく伝えている
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3		地域住民を招待する等の行事は行なっていない
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	1	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1		避難訓練は、火災と地震どちらにも備えて行っている
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3			契約時に確認し、職員全員に周知している

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3			保護者様から指示を頂いている
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			記録して、共有を行なっている
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			虐待防止研修を行なっている
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3			契約時に丁寧に説明し、支援計画にも記載している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。